

令和7年度 あんり小規模保育園 保護者アンケート集計結果

園児世帯 17 提出数 18 回収率 95%

※項目について Aそう思う Bやや思う Cあまり思わない Dまったく思わない

欄内は回答人数(人)

内 容	A	B	C	D
Q、お子さんは園に行くのを楽しみにしていますか？	13	5	0	0
Q、あんり小規模保育園では「丈夫なからだ・おもいよりの心・やる気のある子」を園目標、「一人ひとりを大切に作る保育」を重点目標として保育を行っていますが、園目標が生かされていると思われますか？	15	3	0	0
Q、集団の中で一人ひとりを把握し、家庭と連絡を密に取り合いながら、保育活動が進められていると思われますか。	13	5	0	0
Q、基本的な生活習慣の自立への関わりを含め、お子さんの発達に合わせた活動や遊びが行われていますか。	16	1	1	0
Q、園で実施している保育参加（保育士体験）や懇談会、職員との対話などは子育て支援につながっていると感じますか。	15	13	0	0
Q、お子さんは保育者（先生）を信頼していると感じられますか。	16	2	0	0
Q、園の職員は、お子さんについての悩みや心配事を安心して話せる存在ですか？	15	3	0	0
Q、栄養バランスや食事の量など、給食メニューには満足していますか。	15	1	2	0
Q、園の食育への取り組み（少ない機会ですが栽培やクッキング、行事食、食事時のマナーを身に着ける等）に満足していますか？	15	3	0	0
Q、親子遠足について、親子の触れ合いのために園行事としていますが満足していますか？	16	2	0	0
Q、来年への参考とさせていただきますのでご意見や質問などありましたらお願い致します。 ・保育士体験など普段の様子を生でもう少し見られたらうれしいなと思います。 A、保育士体験は、希望があれば受け入れることができるので、園での様子を見たい方は遠慮なく担任にお伝えください。 ・年始の希望保育（5、6日）は企業の仕事が始まっているので通常保育にしてほしかった。 A、職場によって休暇の期間が様々だと思われます。仕事の方は、ご利用下さい。 ・保護者と手をつながないでいるお子さんが見られ駐車場や、歩道を歩く子が危ないと思われることがある。 A、保護者の方々には、何かあってからでは遅いので注意喚起をおこなっていきたく思います。				

保護者アンケートに回答をいただき、ありがとうございました。

回答にはうれしい評価や、温かい言葉をいただき、職員たちも励みになりました。皆さまのご意見を真摯に受け止めて、改善できるようにしていきます。

今後も職員の資質向上を目指し、よりよい園運営に努めてまいります。

令和7年度 あんり小規模保育園 自己点検・自己目標表

氏名 _____

取り組む内容	1年間の目標（4月）	中間評価（10月）	最終評価（2月）
※各内容について	※具体的にどんな取り組みをどの程度の目標か。	当初の目標に対する達成度・その過程で努力した点・反省点	※具体的にどんな取り組みをどの程度したか。
◇保育に関する目標 ・ ・			
◇働き方・職場環境 職場の一員としての目標 ・ ・			
◇園務分掌の役割について ・			

※目標は、人や仕事を管理するものではありません。モチベーションを高く仕事に取り組むためのものです。

目標についての最終自己評価

<input type="checkbox"/> A 満足	<input type="checkbox"/> B ほぼ満足	<input type="checkbox"/> C やや不満	<input type="checkbox"/> D 不満
	72%	14%	14%

* 5月9日までに提出してください。

令和7年度 あんり小規模保育園 自己評価

氏名

	評価項目	目標設定の理由	取り組み状況	結果 (%)			
				A	B	C	D
1	一人一人の子ども心に寄り添い、情緒の安定を図り、自尊感情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大人との関わりで愛着関係を築くことを土台に子どもとの関わりを育ててきているか。 ・身の周りに様々な人がいることに気づき、徐々に他の子どもと関わりを持つことができていくか。 ・大人の受容的、応答的な関わりの中で欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごすことができていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児担当制を行うことで子どもたち一人一人に寄り添い丁寧に関わることができた。子どもたちと信頼関係が築くことができ、子どもたちも安心して園死活を送ることができていた。 ・子どもたちの興味関心のある遊びを、保育環境に取り入れたり、活動や制作を考えることで意欲的に参加する姿が見られた。 	43	43	14	
	発達段階に応じて、子どもが主体的に活動や遊びをしていくことができる教育・保育をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動できる教育・保育を展開し、子ども一人一人が「みたい」「しりたい」「やってみたい」と心を動かして生活や遊びができていくか。教育・保育の過程を保護者に伝える工夫をし、保護者と連携して子どもの育ちにつなげることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的という部分でまだ足りないと感じた。乳児の中でも主体性を見出して関わり、保育を展開していけるようにしたい。 ・ワンフロアで過ごすことで、異年齢の関わりが日常的にあり、小さな子どもたちは大きい子たちの遊ぶ姿から学ぶことが多かった。また大きな子たちは自分より小さな子にどのように接していくか学び、ともに過ごす事が心地よく感じる事ができた。 	29	57		14
	自分を大切にし、友だちにも認められてつながりの中で育つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・同年齢や異年齢の子どもとの真似をしたり、遊びを見たりすることで一緒にやってみようとする活動が意識されているか。 ・保育士や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内や園庭で遊ぶ時も、クラスに関係なく子どもたちを職員全員で見えていくことができていた。 	43	43	14	
2	心の健康と体力の向上を図り、心と身体を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、体を動かして遊びたくなるような環境を作り、友だちと一緒に遊ぶ楽しい活動を、育ちのつながりを見通して、計画的に継続し、子どもが主体的に取り組めるようにすることで、しなやかな心と体を育てることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の散歩や季節ごとの畑での食育活動、自然の中で身体を動かす喜びや、「やってみたい」「もっとやりたい」と子どもたちが笑顔で取り組める活動を1年を通して行っている。 ・定期的に子どもの様子を見ながら、発達・関心に合わせて職員間で意見を出し合いながら、環境づくりを行っていった。 	43	43		14
	健康で安全に生活することができるように安全教育をし、環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを見つけた取り組みを重ね、過去の事故事例から学んで情報共有をし、健康で安全に生活することができるように安全教育をし、環境を整える。 ・安全教育に取り組むことで大きな事故を防ぐことができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった場合や危険と感じた時、職員全員でどんな対策をするべきか考え相談し合うことで子どもたちの生活がより安全になるように努めている。 	43	29	14	14
3	教育・保育の中で学びの芽を育てていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から大人との愛着関係を育てることを土台に、就学までの6年間を見通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識しながら、各年齢の生活やあそびの場面で、子どもの行動や言葉の中に学びの芽が見つけられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の探求心や好奇心を大切に保育を心掛け、丁寧に関わることで愛着関係を築けるよう、担当職員、加配職員が互いに子どもの様子などを伝えあうように心掛けてきた。 ・10の姿を意識しながら、子どものつぶやきを拾い、受け止め共感し意識しながら関り、保育を考えるようにしてきた。 	14	58	14	14
	園の育ちと小学校の学びがつながるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に置いているか。 ・発達過程に応じ、個人差に配慮しながら発達を保障し、園の育ちと学校の学びをつないでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10の姿を意識してはいるが、乳児となると常にと意識が足りないように感じることもある。 	14	58	14	14
4	地域や社会とのつながりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に求められる社会的ニーズの変化に対応し、地域に根ざす園づくりについて考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の畑での活動や散歩の時の地域の方々とのふれあいを大切にしている。 ・社会的ニーズの変化が目まぐるしく応じ方に戸惑うときがある。園づくりについてや働き方など悩むは思っている。 		57	29	14
5	職員がチームとして連携して保育園運営をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や方針、保育課程や年間計画について職員同士が共通理解し、ねらいを明確に実践を楽しく展開することができているか。 ・子どものこと、保育のことをよく話し合い、各職種とも職員間の連携をよくし、子どもへのかかわりに活かすことができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の部会を活用して保育の困り感や、子どもの様子などを密に話し合うことができていく。他のクラスの職員と情報を共有することができ園全体を把握することができた。 ・毎週部会を行うことで話し合いがされそれが加配にもしっかり伝達できている。連携もよくできていると思う。 	57	29		14

評価 A 満足 B ほぼ満足 C やや不満 D 不満